ＫＫＲについて

田中圭

ＫＫＲ

ＫＫＲの設立は1976年、ニューヨーク証券取引所に上場している。

ＫＫＲの投資手法はこうだ。

まず、出資者より資金を集める。足りない分は銀行からの借り入れで補う。それでも足りない分は、他の企業と共同で買収を行い資金を調達する。(ＧＳ系のファンドや、他のプライベートエクイティファンド等)

ＫＫＲは5年ー10年ほど企業を保有し、その間に経営のスリム化、リストラ、買収した企業の資産売却等を行い財務状態を改善させる。その後他の企業に売却するか、上場させて利益を得る。

10億円で企業を買収する。→リストラ、売れる部門は他の企業に売却する。売上、利益等を改善する。→３年－５年後２３億で他の企業に売却する。

もちろんファンドであるので、初期段階で１００億を調達していれば、同時に何社も買収することができ、高いリターンを出せ

れば、評判が高まり、さらに資金が集まる。

ＫＫＲに投資している企業、機関。
ハーバード大学基金。
ＭＩＴ大学基金。
企業年金基金。

2006年から2007年の間にＫＫＲによって買収された主要な企業
。

2006　ＨＣＡ、NXP Semiconductors、TDC A/S

2007　Dollar General、Alliance Boots、Biomet、
　　First Data、TXU

ヘンリークラビス
ジェロムコールバーグ
ジョージロバーツ

ヘンリークラビスは30歳でベアスターンズのパートナーになった
。

彼らは当初ベアスターンズで一族経営の企業に対して

kkrの初めての投資企業は1977年、A.J. Industriesだった。

kkrと経営陣

経営陣には運営する会社の株式を持たせる。株式の購入資金はkkrが資金を貸す。
→何故そのような手法を取るのか？その企業の業績が上がればその経営者も儲かる。つまり、会社の業績が上がれば経営者も大金持ちになれる可能性があるということだ。日本のようにサラリーマン経営者の場合、給料＆ボーナスがほとんどであるが、経営者に株式を持たせることで、経営者は死に物狂いで会社の運営にあたる。